

## 収容定員変更に伴う「学則変更の趣旨等を記載した書類」

### 1. 収容定員変更の内容

本学では、入学定員の適正化をはかるため、平成31年度より食物栄養学科（定員30名収容定員60名）を新設し、人間福祉学科（社会福祉専攻・介護福祉専攻）の入学定員の一定数の削減を図り、以下の通り収容定員を変更する。

	変更前（収容定員）	変更後（同）
○人間福祉学科社会福祉専攻	40人（80人） △10人（20人）	→ 30人（60人）
○人間福祉学科介護福祉専攻	40人（80人） △20人（40人）	→ 20人（40人）
○食物栄養学科	新設	30人（60人）

### 2. 収容定員変更の必要性

(1) 本学では人間福祉学科において、近年、入学定員を確保することが困難な状況である。

この要因としては、地元高校生の進学状況の一般的な傾向として、①いわゆる短大離れが進み、進学先が4年制大学と専門学校に二極化する傾向にあること、②上野東京ライン、湘南新宿ライン等交通機関の充実と大学立地の都心回帰により、県内から東京方面に通学する学生が増えていることがある。

また、本学への入学者の大半を占める栃木県央・県北及び南東北各県からの入学者が、少子化に加えて、地方経済の低迷、さらに東日本大震災の影響からも家計が苦しくなり、減少している要因もあげられる。

(2) 人間福祉学科については、「福祉現場のマイナスイメージ（3K）」が高校生に広がっており、本学卒業生の就職状況は好調であるものの、入学者数は減少している。

これに対して、社会人入学の募集や、福祉現場以外への進路を開拓すべく介護福祉専攻に美容福祉学講座・社会福祉専攻に医療事務履修コースを開設し、福祉社会を支える幅広い人材ニーズに応えることとしている。

また、学科創設以来18年間の卒業生をリカレント教育においてネットワーク化し、高校生に地域福祉への興味関心を広げるための「本学地域福祉開発センター」の活動（出前講座など）も強化している。

(3) きめ細かな高校訪問により上記の教育改革への認知度を高め、高校生との接点を深めるためオープンキャンパスの回数増加や多様化（3月に「大学体験講座」を開設）を行うなど、募集広報活動も充実させている。さらに家計の状況に対応して各種奨学金（入試特待制度，在学学生奨学金，資格取得受験料補助）の拡充に努めている。

今後とも教職員が一丸となって危機感を共有して入学者の増加のための方策を推進し，変更後の入学定員が充足できるよう努力していく所存である。

### **3. 収容定員変更に伴う教育課程**

今回の収容定員変更による教育課程への変更はないが，3つのポリシーに基づく人材養成を遂行するため，PDCAサイクルによる内部質保証に努めることとする。